

## 第2回彦根市公共交通活性化協議会 公共交通連携計画策定分科会 議事録

開催日 平成20年9月5日(金) 午後2時00分~午後4時30分

開催場所 市民会館第1会議室

議事 目標、基本方針、具体的な施策の提案について  
その他 滋賀県タクシー協会からタクシーに対する意見聴取

### 採算性

---

- ・ コストからみて採算分岐点は、・・・一番乗っているのは南彦根県立大学線で7人。それでもおそろしく厳しい。10人くらい乗っていないと。
- ・ 山東町のカモンバス廃止や守山市のデマンドバスもされるが、デマンドタクシーも本当によいかどうかは分からない。
- ・ 採算ベースではまったくの黒字になるのは難しい。市民が使ってもらえる補助なら生きた補助になるので、そういう使い方をしたい。

### 公共交通利用者が報われる仕組みづくり

---

- ・ NTT が国営時代に民営化していないところは切り捨てられる、当初はどこでも電波が繋がることを目標にしていた。公共交通機関も同じで、需要の少ないところが切り捨てられるのは、みんなが安心して暮らせる社会とは逆行しているように思う。例えば、バス定期を購入すると税金が安くなるとか、貢献している、報われるというような話になれば、個人的だけでなく社会全体で考えているという位置付けになるのではと思う。

### イベント時の臨時バス運行・観光需要をうまく取り込む

---

- ・ 高齢者は増えるがなかなか免許証を捨てない。これから高齢者のバス利用者も増えていかないかもしれない。イベント的な方向に向いていくほうがよいかもしれない。ボリュームのあるところはよいが。
- ・ 観光に来られる方がバスに乗られるのはどのくらい分かるか。それに応じて対応が考えられるかも。
- ・ 春の花見の時期に増える。御城下巡回バスに乗りに来られる方や、400年祭では臨時便を出した。
- ・ ターゲットは、地域住民・職場・観光 の3つに分けられるだろう。日常的に使われる硬い需要と観光はやり方がちがう。

### 最低30分に1本の運行・パターンダイヤの実現

---

- ・ 自分がバスに乗るのであれば30分に1本必要。満点ではないが、かなり突っ込んで審議したバス系統。これはこれでよいと思う。赤字だから減らすのではなく長期的なビジョンで触らないほうがよい。30分くらいは待てるのでは。
- ・ 毎定時、定時2本をしてほしい。JRにあわせる策。覚えてもらう、あるという安心感を。
- ・ パターンダイヤにするのは感覚的にもとても大事。これだけ走っているという見せ方も大事。

- ・ 自分が乗るところで1時間に2本あるかどうか。彦根駅行きでもいろいろ路線がある。利用者から見るとそれはマジックのようだ。
- ・ すべて1時間2本は難しい。できるところとできないところの仕分けが必要。

---

#### バス待合環境の改善（商店街との連携）

---

- ・ バス停に雨の日に休めるところを。商店とかに協力してもらおうとか。
- ・ 総論は賛成だが各論で反対が多い。パチンコ屋さんで待っておられる方も。

---

#### 高齢者や障害をお持ちの方への乗降アテンド・すべての人にやさしいバス

---

- ・ 高齢者が多いので介護をする人がボランティアでいてくれたら乗ろうかという気になるかも。バスボランティアを。名札つけて手助けしたら100円ですむなどのボランティアがいれば。やさしさがこのバスにあるよという。そういうやさしさがあるバスになれば高齢者は喜んでバスに乗る。
- ・ バスに乗る人の補助が大学の学生アルバイトに来ているがなかなかいない。

---

#### バス方向幕の改善・系統番号の活用

---

- ・ 福岡のバスの見せ方で上手いのは、主要な経由地、利用度が高いところがすべて入っている。方向幕についても検討を。系統番号が生かされていない。方向字幕に数字が入っていない。
- ・ 彦根ほど系統がごろごろ変わる地域も少ない。整理がなかなかできない。

---

#### アンケートについて

---

- ・ アンケートは市民の4000世帯だが、活性化しようとしたら日常的なコンスタントな需要が必要。市民以外のバス利用者、定期的に来られる通勤通学利用者層（学校や会社）にすると良いアイデアができるのでは。
- ・ 市役所のホームページでアンケートができないか。アンケートしてあとでお得な情報があればうれしいと思う。
- ・ 11万人が年間3～4回乗れば・・・というのは、無料の人もいるので、本当に200円300円で乗れる人の数でいかないとトリッキーかと思う。
- ・ 学生などで住民票を写していない層に抜けた情報になるので、そのあたりのフォローを。
- ・ 単身赴任で住民票異動していない人もいる。大日本スクリーンなどは短期間彦根市に来られている人もいる。
- ・ 大日本スクリーンなどの企業には協力を取り付けるのに時間がかかるので今後依頼していくこともできる。
- ・ 外国籍の人はバスを利用する頻度が高い層だと思うが、アンケートが届かないのでは・・・それはグループがあれば直接話を聞くほうがよい。
- ・ バス事業者として、西高校生は本当のターゲットだと思う。そのあたりも抜けていると思う。

---

#### 今後の進め方について

---

- ・ 意見が言える場を広く持っていきたいので、一般の人を集めてやるワークショップを考えている。

- ・ 次回の分科会はアンケート回収の報告とともに具体的な案を考えていきたい。

## 滋賀県タクシー協会からタクシーに対する意見について

---

### <滋賀県タクシー協会>

規制緩和ができてから利用が伸び悩んでいる中で行動改善計画の提出を求められている。利用者の意見を聞きながら策定していきたい。

### <意見>

- ・ 夜に市立病院へ行くのに夜中の3時から休みになっていて病院で待っていた。労働条件に入っているとと思うが、車を運転できない老人もいるので、タクシー会社で順番を決めるなどするなど、何か対策は取っておられるか。  
週40時間労働時間制をとっていて、3時から6時は仮眠時間になっている。各事業者間で可能であれば今後考えていく必要がある。
- ・ 少子高齢化社会で障害を持っている子供でバスに乗りにくい子がいて、突発的に物をいじったりドアを開けたりする行動に対しての一般的な研修をしてもらえると安心して乗れると思う。
- ・ 朝バスの本数が多いときに乗り切れず1時間目遅刻することも。何人かで乗合でタクシーを利用するがタクシー数がなくて乗れないこともあるらしい。日常的にタクシーを利用するかもしれない層が学生にもあるので、そのあたりに配慮があれば。
- ・ 仕事でタクシー利用して帰ると、守山・大津・高島で電話番号が違う。場所が分からず電話をしたらエリアが違うことがあったことがある。もう少し電話がかけやすくなれば。  
交通圏が決まっているので難しい問題もあるが、検討したい。
- ・ 車両を環境対応にしたりとかは。  
いちばん環境に配慮しているエネルギーを以前から使用している。
- ・ 電話番号を聞かれることがあるが、電話帳に載せているか。  
近江タクシーの電話は電話帳のいちばん裏に掲載してもらっている。乗合タクシーの広報を市からしてもらえる。
- ・ 障害者の車いすが乗せられるタクシーは近江タクシーだけか。今後の状況は。  
彦根では近江タクシーだけ。
- ・ 車椅子に対応できないタクシーが多いので、介護タクシーの利用が多くなってきている。そのあたりはどのように考えているか。  
なかなか難しいのが現状。
- ・ 女性ドライバーは増えているか。  
平成14～15は増えてきたが、頭打ち。女性が働きやすい環境にしていけないと感じている。
- ・ 渚タクシーは彦根駅に入れないのか。  
JR 駅は彦根駅が狭いので新しく営業権を発行していない。自家用送迎やバスが通れなくなるということを考えながらということ。
- ・ 彦根から飛行場に向かうのに一番アクセスしやすいのは関西空港。地理的にはセントレアだが新幹線を使って乗れるかどうか。車で2時間ちょっとの距離。セントレアの朝の便に乗れる交通機関が彦根にあるのかと考えると難しい。前日に一泊しては不便。タクシーで行けるようにということは検討課題にはないか。

関西空港ができたときにプリンスとかを寄って関空直接というのがあったが需要が非常に少なくてやめてしまった。

- ・ 料金がいくらかぜんぜんわからないのがとても不安。そのあたりでもわかるようになれば使いやすい。